

本道産業の担い手育成に資する産業教育の在り方に関する調査

〈大学生・大学院生用〉

本調査は、北海道産業教育審議会が、産業構造の変化やグローバル化、少子高齢化など、社会の急激な変化に伴う生徒の変容や社会のニーズ等を把握するために実施するものです。目的以外には使用しませんので、ありのままにお答えください。



[回答方法] 右の2次元コードを読み込むか、次のURLにアクセスして、ウェブページ上で回答してください。

(URL) <https://forms.gle/E45BAgyvVwAy2hmc6>

[回答〆切] 令和6年(2024年)10月末日

◎最初に、あなたが取得予定の教員免許の教科について教えてください。【複数回答可】

(農業科、工業科、商業科、水産科、家庭科、看護科、福祉科、その他の教科)

◎あなたの高校(出身学科)について教えてください。【1つのみ選択】

(普通科、総合学科、農業科、工業科、商業科、水産科、家庭科、看護科、福祉科、その他の学科、高専)

◎あなたの学年について教えてください。【1つのみ選択】

(1年、2年、3年、4年、修士課程1年、修士課程2年)

設問1 職業選択において重視するものは、次のうちどれですか。

【3つまで回答可】

- 1 自分の能力やスキルを生かすことができる
- 2 自分が成長できる
- 3 意義ややりがいを感じることができる
- 4 仕事の進め方を自分で決めることができる
- 5 クリエイティブで創造的な仕事ができる
- 6 収入が安定している
- 7 収入が高い
- 8 ワークライフバランスがとれる
- 9 社会的に尊敬(感謝)される仕事である
- 10 職場の雰囲気や同僚との人間関係がよい
- 11 転職か少ない、または少ない
- 12 クレームへの対応か少ない、または少ない
- 13 その他(具体的に)

設問2 就職活動全般において、情報収集や相談をする際に重視している情報源は、次のうちどれですか。【複数回答可】

- 1 大学の教職課程の教員
- 2 ゼミ教員など、教職課程以外の教員
- 3 大学のキャリアセンターや就職支援室など
- 4 就活イベントや企業の説明会など
- 5 就活支援サイトなどのインターネット上の情報
- 6 仕事の様子を紹介した資料やパンフレット
- 7 SNS (Instagram, X, Facebook など)
- 8 家族
- 9 友人や先輩など
- 10 出身高校の教員
- 11 テレビや新聞などのマスメディア
- 12 その他(具体的に)

設問3 現時点での教職に就きたい気持ちとして当てはまるものは、次のうちどれですか。【1つのみ選択】

- 1 教職に就きたいと考えている
- 2 教職を中心に考えているが、民間企業等にも魅力があり迷っている
- 3 民間企業等を中心に考えているが、教職にも魅力があり迷っている
- 4 民間企業等に就職したいと考えている

設問4 教員免許を取得しようと思った理由として当てはまるものは、次のうちどれですか。【3つまで回答可】

- 1 資格とし、将来どこかで生かせるかもしれないから
- 2 職業選択を拡げるため
- 3 教員の仕事に魅力を感じ、教員を目指しているから
- 4 職業教育に携わる仕事に魅力を感じ、教員を目指しているから
- 5 給与や福利厚生に魅力を感じ、教員を目指しているから
- 6 自分の強みや能力を生かせると感じ、教員を目指しているから
- 7 今まで出会った先生への憧れがあり、教員を目指しているから
- 8 大学の教員のすすめ
- 9 保護者のすすめ
- 10 出身高校の教員のすすめ
- 11 友人・先輩のすすめ
- 12 なんとなく
- 13 その他(具体的に)

設問5 職業学科(農業、工業、商業、水産、家庭、看護、福祉)のイメージとして、あなたの考えに近いのはどれですか。

【それぞれについて4段階で回答】

(とても思う、思う、少し思う、全く思わない)

- 1 実習などが充実しており、専門的な知識・技術が身に付く(資格取得を含む)
- 2 専門性を生かした競技会や部活動などに参加できる
- 3 工場や農場などの施設・設備が充実している
- 4 専門性の高い教員がいる
- 5 就職支援が手厚く希望の企業に就職しやすい
- 6 大学等への進学指導が充実している
- 7 企業等の専門家から先端技術を直接学べる
- 8 即戦力になりうる人材を育成している
- 9 就職後の早期離職者が少ない
- 10 服装や頭髪、礼儀やマナーの指導が行き届いている
- 11 コミュニケーション能力や協働力が育まれる

設問6 職業学科の教員の魅力として、あなたの考えに近いものは、次のうちどれですか。【それぞれについて4段階で回答】

(とても思う、まあ思う、あまり思わない、全く思わない)

- 1 自分の関心のある分野に携わることができる
- 2 教員研修など、自己研鑽の機会が多い
- 3 社会的意義ややりがいを実感できる
- 4 授業の進め方を自分で決めることができる
- 5 生徒の成長に直接関わることができる
- 6 実習が多く、一人一人に寄り添った指導ができる
- 7 受験指導にとらわれない
- 8 教員や生徒の学科への所属意識が強い
- 9 目的意識がはっきりした生徒が多い
- 10 社会で多くの卒業生が活躍している姿を目の当たりにできる

設問7 職業学科の教員として働く場合、あなたが不安に思うこととして当てはまるものは、次のうちどれですか。【5つまで回答可】

- 1 自分の能力やスキルが不足している
- 2 校内における初任者へのサポート体制がうすい
- 3 教育者に対する社会の目線が厳しい
- 4 現場の教員の自己決定権が少ない
- 5 生徒の人格形成に関わる責任が重い
- 6 実習が多く、生徒の安全に関わるリスクが大きい
- 7 資格指導や各種コンテスト等の指導が大変である
- 8 産業界の関係者への対応が大変である
- 9 生徒指導による業務が多忙である
- 10 休日出勤や残業が多く多忙である
- 11 異なる学科間ではチームワークが保ちにくい
- 12 給料が多忙さや責任に見合わない
- 13 遠隔地への転勤がある
- 14 寮の宿直、生活指導が大変である

設問8 あなたにとって、職業学科に関する情報源となっているものは、次のうちどれですか。【複数回答可】

- 1 自分が職業学科の出身者である
- 2 大学の教職課程の教員
- 3 ゼミ教員など、教職課程以外の教員
- 4 教育実習
- 5 大学のキャリアセンターや就職支援室など
- 6 高校のホームページなどのインターネット上の情報
- 7 仕事の様子を紹介した資料やパンフレット
- 8 SNS (Instagram、X、Facebook など)
- 9 家族
- 10 友人や先輩など
- 11 出身高校の教員
- 12 テレビや新聞などのマスメディア
- 13 その他 (具体的に)

【御協力ありがとうございました。】